

# 令和4年度学校自己評価システムシート (県立宮代高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させ、自ら考え、判断し、表現する力につなげる 2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる 3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価				
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日 令和 年 月 日	
								学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>【現状】授業を理解し主体的に参加している生徒が増加し、進路実現に向けて目的意識を持って学校生活を送っている。</p> <p>【課題】ICT活用、AL等により学習活動の充実を図ったが、思考判断表現力と知識・技能の定着に結び付く意味理解学習の実践はまだ十分ではない。また、各種検定の受験者は増加したが、各自の目標設定が弱く課題である。</p> <p>新学習指導要領観点別評価開始に合わせさらに授業改善を行い、生徒一人ひとりの基礎学力を向上させ多様な進路実現を果たす。</p>	<p>○知識・技能の定着を重視した能動的な授業を実践し、生徒の主体的・対話的な学習態度を育成する。</p> <p>○多様な進路希望の実現に向けて、一人ひとりに適した進路指導を行い、資格取得に向け目標を設定させ計画的な学習を支援する。</p>	<p>①基礎学力向上に向けた授業実践と授業研究を行い、教員の指導力を向上させる。また、学習サポーターの有効活用で生徒の基礎力向上支援に繋げる。</p> <p>②朝学習の効果的な活用、夏季・冬季補習の講座へ、参加者を増やし補習を充実する。</p> <p>③三年間を見通し、早い時期から進路指導を行い、進路実力増進講習の受講者数を増やす。また、多様な進路に向け、1年間で資格テスト受験率一人1つ以上を目指す。</p>	<p>①「授業が理解できているか」という生徒の割合90%以上</p> <p>②補習へ参加する生徒の人数を昨年度よりも増加させる。また、欠点を取る生徒は減少したか。</p> <p>③生徒の個々の受験の割合30%以上とその他の特技・興味のある補習や講習会への参加割合20%以上。</p>					
2	<p>【現状】特別生徒指導件数は激減し、身だしなみ不良者、遅刻・欠席数、転退学者数は毎年減少傾向にある。</p> <p>【課題】生徒一人ひとりの資質を認め人権に配慮し、個に応じた指導と足並みを揃えた生徒指導を行い、転退学者の更なる減少につなげる。春日部特別支援学校宮代分校開校に伴い、本校生徒及び保護者に共生社会に向けたインクルーシブ教育への理解を深めていく。</p>	<p>○ポイントを明確にした生徒指導を実践する。</p> <p>○生徒・保護者への粘り強い丁寧な対応、カウンセリング等に関する教職員研修の充実で、転退学者を減少させる。</p> <p>○継続的なインクルーシブ教育で他者理解を深める。</p>	<p>①家庭と連携して生徒の生活改善を図り、規範意識を確立する。</p> <p>②授業、部活、行事、教育相談等を充実し、学校生活へ意識を向け、転退学者を無くす。</p> <p>③道徳教育推進モデル校指定事業として、講演会や分校と交流行事を行い、生徒の学びの場を増やし、思いやりや優しさを教える。</p>	<p>①生徒指導件数、遅刻欠席率を減少させる。</p> <p>②転退学者数を前年度より減少させる。</p> <p>②インクルーシブ教育講演会と分校との連携事業を、定期的実施する。</p>					
3	<p>【現状】地域(宮代町、町教委、自治会、商工会)交流や異校種交流事業を行い、豊かな人間性と社会性を育成する機会を持った。70万人体験活動の様子を情報発信し、生徒の参加意欲を高めた。</p> <p>【課題】HPは機を逃さず更新、学校説明会や各種交流は地域を拡大して広報し、本校の教育活動を広く周知する。</p>	<p>○学校内外の教育資源、地域資源を活用した交流事業、また、春日部特別支援学校宮代分校との交流を率先して行う。</p> <p>○積極的な情報発信で、入学希望者数の増加につなげる。</p>	<p>①小中との交流事業や生徒の個々の得意分野を生かした活動を継続し、宮代高校を理解し信頼を得て、普及活動に支援の輪を広げる。</p> <p>②HPとメール配信システムの活用により、宮高の魅力情報を発信し、家庭・地域との連携を強化する。</p>	<p>①近隣小中学校等との連携による学習活動、地域住民との交流や地域貢献活動等、教員・生徒の係わり3件以上を目指す。</p> <p>②HPの充実を図り、本校の教育活動の魅力を発信、一日平均2,200アクセス数を目指す。また、保護者メールは効果的な情報を適宜発信する。</p>					